

北部病院だより 第130号(2019.4)

Showa University Northern Yokohama Hospital

- 【巻頭言】 NARITAI～新年度の始まりに当たって～
- 【医学講座コーナー】 大腸がん
- 【TOPICS】 ロビーコンサート開催報告
- 【医師の配属・異動・退職】
- 【患者さんからのご意見・ご要望】
- 【診療統計】
- 【TOPICS】 がん相談支援センターについて
- 【編集後記】



昭和大学
横浜市北部病院

巻頭言 NARITAI～新年度の始まりに当たって～

皆さん、こんにちは。医療教育支援室の成島と申します。この春、多くの医療職の方々を病院に迎え入れることができましたこと、大変喜ばしく思っております。その中には、自身の専門診療能力を極める目的で当院を選んでくれた十数名の医師達がおります。新専門医制度（後期研修）はここ数年の準備期間を経て、昨年4月からスタートとなった新しい制度です。この制度に則り、医学部卒業後2年間の臨床研修（初期研修）を終えた後、外科や内科といった各専門研修を受ける者達を「専攻医」と呼びます。数年後には外科専門医、内科専門医として患者の皆様の診療に携わることになります。どうぞお見知りおきを、よろしくお願い致します。



〈外科手技スキルアップセミナーにて 指導医、研修医の先生方と〉
〈医療教育支援室 成島 道昭 副院長〉（右後方）

北部病院では、医師以外にもたくさんの職種の新人達がこの4月から社会人としてのスタートを切っています。彼らがどのような期待や不安を持っているかは計り知れませんが、「よき医療人になりたい」という切なる思いは共通なのだと思います。

「・・・になりたい」といえば、こんなことがありました。先日、街中を歩いていると何やら軽快な音楽が聞こえてきました。南米エクアドルの伝統音楽グループ「JUANIS（フヤニス：愛）」のプロモーションのための街頭演奏です。『コンドルは飛んでいく』で有名なケーナに似た縦笛の音色など、どこか懐かしさを感じ思わず引き込まれて最後まで聞き入ってしまいました。早速家で調べてみると、中に『NARITAI』と題する曲を見つけました。解説には「日本語の歌詞は、有名な『雨ニモマケズ』の詩からの引用です」とあり、確かに曲の最後には、日本語で『雨ニモマケズ』の中の一節が歌われていました。どうしてこの部分を選んだのでしょうか、曲は明るく軽やかでリズムカルです。もし日本人がこの詩に曲をつけるとしたら決してこのようにはならないなと思える曲調で、意外な感じを受けましたが、「私たちの夢と熱意を伝えるため『NARITAI』とした」と紹介されていました。

宮沢賢治の『雨ニモマケズ』は日本人には有名ですね。その一節「雨ニモマケズ、風ニモマケズ、雪ニモ夏ノ暑サニモマケヌ、丈夫ナカラダヲモチ、慾ハナク、決シテ瞋ラズ、イツモシヅカニワラツテキル・・・、ソウイウモノニ、ワタシハナリタイ」この詩は東日本大震災で甚大な被害を受けた東北の方々の、復興に向けての心のよりどころになったとも聞いています。

さて、新入職された皆さんのNARITAIはいったい何でしょうか。そのように質問されてもまだ自分の未来は漠然としているのでしょうけれど、でもきっと自分のNARITAIが見つかりますよ。またそのようになれるよう、夢と熱意をもってこれからの毎日を精一杯送って下さい。これまでは、答えのある問いばかりを教わってきたのですが、これからは答えのない問いばかりです。その問いを解くために、諸先輩方から浴びるくらいたくさんのフィードバックを受けて下さい。フィードバックは「されるもの」ではなく、「自らが求めるもの」、これはフィードバックを効果的にするためにとっても大切なスタンスです。私たちも、君達それぞれのNARITAIを、そしてよき医療人となることを、応援していきたいと考えています。

皆さま、どうぞ彼らのこと、そして横浜市北部病院のこの1年をよろしくお願い致します。

医学講座コーナー 大腸がん

大腸がんの罹患者および死亡者数は世界的にも、また日本においても増加しており、実に日本人女性のがん死数の1位、男性の3位が大腸がんです。この大腸がんによる死亡数減少へ向けて、当センターは2001年開院以降、国際消化器内視鏡研修センターとして世界最先端の診断・治療に加え、国内外の内視鏡医師教育にも力を入れ、大腸がん診療の中心的な役割を担っています。

大腸がんは早期の場合、初期症状がほとんどみられず、小さなポリープだけの状態では顕著な自覚症状がないことが特徴です。進行がんでは、排便異常（便が出にくい、下痢と便秘を繰り返す、など）、腹痛、血便、嘔吐、腹部膨満感（お腹が張る）、腸閉塞（便やガスが肛門までたどり着かず、腸管内に溜まり続けること）、などの自覚症状がみられる場合があります。つまり、大腸がんになり自覚症状が現れるころには、すでに進行している状態にあるといえます。

がんを発見するために行われる大腸がん検診は、男性女性ともに、40歳を過ぎたら毎年受けることが推奨されています。大腸がんは、ある程度進行するまで目立った自覚症状が現れにくいいため、早期発見、早期治療のためには、年に1回の検診が望まれます。また特に、親子や兄弟など血縁者の中に大腸ポリープまたは大腸がんの方がいる場合には、定期的に検査を受けることが推奨されます。本邦では便潜血検査によるがん検診の受診率が40%程度、また検診陽性者の大腸内視鏡検査受診率が70%未満といずれも低率であります。大腸内視鏡検査は、がんの早期発見だけではなく診断から治療までも同時に実施できることが、他の諸検査に比べて大きく優れている点です。「検査により得られる利益」が「検査を受ける負担」に比べ圧倒的に上回っていると言えるでしょう。当センターでは実に年間8,000件におよぶ大腸内視鏡検査を行っています。

大腸がんの治療には内視鏡治療、手術治療、化学療法（抗がん剤）、放射線治療などがあり、治療方法はがんの進行度によって決まります。早期がんの場合は手術でお腹をあけることなく大腸内視鏡を使った内視鏡的粘膜切除術や内視鏡的粘膜下層剥離術などの治療が行われます。内視鏡治療や腹腔鏡下手術では、大腸の機能は大きく損なわれることはないため、比較的早めに体力は回復します。がんの発見時にすでに大腸以外の臓器に転移がある場合や、がんが再発した場合には、手術治療だけでなく、化学療法、放射線治療、緩和医療などの治療になります。症状や年齢といった患者さんの背景も考慮して、最も適した治療法を選択します。

年々増加している大腸がんに歯止めをかけるべく、今後検診や大腸内視鏡検査のさらなる普及による早期発見、早期治療が期待されます。現在、当センターは日本医療研究開発機構研究費(AMED)の支援のもと、人工知能(AI)を用いた大腸腫瘍の自動検出(病変の発見)、診断(良性か悪性か)に関する世界最先端の研究を行っています。そしてこの度、2018年末にAIによる大腸腫瘍の病理診断支援ソフトウェア「EndoBRAIN®」の薬事申請が承認されました。大腸がんは早期発見、早期治療によって治る病気です。やるべきことはまだまだ山積ではありますが、本研究が日本の、そして世界中のひとりでも多くの大腸がん死亡減少に繋がることを切に願っております。



消化器センター
工藤 進英 教授

TOPICS ロビーコンサート開催報告

2019年2月22日（金）19時より中央棟1階会計前にて、ロビーコンサートが行われました。

今回は、洗足学園音楽大学・門倉ゼミの学生の皆様による混声合唱が披露されました。

学校法人洗足学園（神奈川県川崎市高津区）とは、平成29年2月に学校法人昭和大学（東京都品川区）が【両大学の特色を活かした連携により、教育・研究・診療・芸術・保育の分野における充実と発展】を目指し包括連携協定を締結し、その関連事業として今回3回目のロビーコンサートとなりました。



〈合唱の様子〉

コンサートは「あの素晴らしい愛をもう一度」を振りを交えながらの明るいパフォーマンスからスタートし、老若男女が楽しめる歌謡曲を中心に「世界に一つだけの花」までの全6曲を披露いたしました。

ピアノの伴奏にあわせ、優しく透き通るような高音とあたたかく力強い低音が美しいハーモニーを創り出していました。

学生の皆さんからは、1曲1曲の歌にのせた熱い思いも伝わってきました。お集まりいただいた方々の中には、感動の涙を流されていた方もいらっしゃいました。

30分という短い時間でしたが、多くの方の心に届く、素敵なコンサートとなりました。



ロビーコンサートを開催いたします。多くの方にお越しいただけることをお待ちしております。

日時：平成31年4月23日（火）19時00分～

場所：中央棟1階 会計前ロビー

演奏者：「pas de chat（パドゥ シャ）」（アンサンブル）

全員ネコが好きな、音楽学校時代からの仲良しグループ。グループ名の「パドゥ シャ」は、ネコのステップという意味。神奈川県、都内で活動。クラシックから映画音楽、時には演歌まで？ネコのようにしなやかで軽い、バラエティ豊かな曲をお届け致します。

※ 日程及び内容が変更となる場合がございます。予めご了承ください。



医師の配属・異動・退職

新規配属医師

【他施設から】

・阿部 泰子	(こどもセンター)	神奈川ひまわりクリニックから	2019年4月1日付
・関水 壮哉	(整形外科)	国立がん研究センター中央病院から	2019年4月1日付
・前田 康晴	(消化器センター)	東京内視鏡クリニックから	2019年4月1日付
・平良 済	(消化器センター)	島根県立中央病院から	2019年4月1日付
・山田 沙季	(消化器センター)	新潟県立がんセンター新潟病院から	2019年4月1日付

【附属施設から】

・杉山 彰英	(こどもセンター)	昭和大学病院 小児外科から	2019年4月1日付
・小菅 正太郎	(眼科)	昭和大学病院 眼科から	2019年4月1日付
・藤巻 良昌	(整形外科)	昭和大学病院 整形外科から	2019年4月1日付
・金野 竜太	(内科)	藤が丘病院 脳神経内科から	2019年4月1日付
・川野 晋也	(こどもセンター)	江東豊洲病院 小児外科から	2019年4月1日付
・宮澤 篤生	(こどもセンター)	昭和大学病院 小児科から	2019年4月1日付
・角田 史敬	(循環器内科)	藤が丘病院 循環器内科から	2019年4月1日付
・林 高樹	(放射線科)	藤が丘病院 放射線科から	2019年4月1日付
・五味 由梨佳	(皮膚科)	昭和大学病院 皮膚科から	2019年4月1日付
・氷室 直哉	(呼吸器センター)	昭和大学病院 呼吸器外科から	2019年4月1日付
・岩久 貴志	(こどもセンター)	江東豊洲病院 小児科から	2019年4月1日付
・遠藤 慶	(内科)	藤が丘病院 糖尿病・代謝・内分泌内科から	2019年4月1日付
・吉澤 徹	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・八十 篤聡	(歯科)	歯科病院 顎顔面口腔外科から	2019年4月1日付
・吉田 優子	(歯科麻酔科)	歯科病院 歯科麻酔科から	2019年4月1日付
・林 圭一郎	(泌尿器科)	江東豊洲病院 泌尿器科から	2019年4月1日付
・藤原 明子	(呼吸器センター)	昭和大学病院 呼吸器内科から	2019年4月1日付
・富岡 幸大	(消化器センター)	昭和大学病院 消化器外科から	2019年4月1日付
・渡邊 常樹	(こどもセンター)	藤が丘病院 小児科から	2019年4月1日付
・布山 正貴	(こどもセンター)	藤が丘病院 小児科から	2019年4月1日付
・前田 麻由	(こどもセンター)	昭和大学病院 小児科から	2019年4月1日付
・唐渡 諒	(こどもセンター)	藤が丘病院 小児科から	2019年4月1日付
・大川 恵	(こどもセンター)	昭和大学病院 小児科から	2019年4月1日付
・宮澤 昌行	(耳鼻咽喉科)	昭和大学病院 耳鼻咽喉科から	2019年4月1日付
・栗原 由佳	(歯科麻酔科)	江東豊洲病院 歯科麻酔科から	2019年4月1日付
・岡田 義之	(産婦人科)	昭和大学病院 産婦人科から	2019年4月1日付
・新谷 暁史	(放射線治療科)	江東豊洲病院 放射線治療科から	2019年4月1日付

新規配属医師

【附属施設から】

・相浦 遼	(脳神経外科)	昭和大学病院 脳神経外科から	2019年4月1日付
・栗原 由佳	(歯科麻酔科)	昭和大学病院 脳神経外科から	2019年4月1日付
・松倉 佐知子	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・久保田 怜美	(内科)	東病院 脳神経内科から	2019年4月1日付
・鳶 薫	(眼科)	東病院 眼科から	2019年4月1日付
・大貫 裕太	(こどもセンター)	藤が丘病院 小児科から	2019年4月1日付
・加藤 優	(脳神経外科)	昭和大学病院 脳神経外科から	2019年4月1日付
・青木 祐香里	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・鎌田 行識	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・近江 真季	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・北澤 皇	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・戸坂 由香里	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・大野 泰裕	(メンタルケアセンター)	烏山病院 精神神経科から	2019年4月1日付
・日隈 のどか	(こどもセンター)	昭和大学病院 小児科から	2019年4月1日付

【初期臨床研修から】

・秋本 佳香	(消化器センター)	順天堂大学	2019年4月1日付
・宮田 裕輝	(消化器センター)	昭和大学	2019年4月1日付
・石垣 成紘	(循環器内科)	昭和大学	2019年4月1日付
・薄元 宗一郎	(循環器内科)	昭和大学	2019年4月1日付
・成井 崇朗	(循環器内科)	昭和大学	2019年4月1日付
・藤岡 立樹	(循環器内科)	昭和大学	2019年4月1日付
・大澤 基	(内科)	昭和大学	2019年4月1日付
・三村 優樹	(内科)	金沢医科大学	2019年4月1日付
・佐々木 由貴	(こどもセンター)	帝京大学	2019年4月1日付
・野口 悠太郎	(こどもセンター)	昭和大学	2019年4月1日付
・小林 弘明	(消化器センター)	昭和大学	2019年4月1日付
・岡田 祥一	(心臓血管外科)	ケースウェスタンリザーブ大学	2019年4月1日付
・川幡 大嗣	(心臓血管外科)	昭和大学	2019年4月1日付
・茨城 麻綾	(産婦人科)	富山大学	2019年4月1日付
・樋口 大樹	(産婦人科)	昭和大学	2019年4月1日付
・溝上 雄大	(耳鼻咽喉科)	北里大学	2019年4月1日付
・瀬戸川 武仁	(放射線科)	富山大学	2019年4月1日付
・柴田 栞里	(消化器センター)	横浜市立大学	2019年4月1日付
・小原 淳	(臨床病理診断科)	昭和大学	2019年4月1日付
・藤田 崇史	(内科)	昭和大学	2019年4月1日付

新規配属医師

【学外研修から】

・齋藤 克幸	(泌尿器科)		2019年4月1日付
・大下 優介	(整形外科)		2019年4月1日付
・石垣 智之	(消化器センター)		2019年4月1日付
・中村 大樹	(消化器センター)		2019年4月1日付
・黒田 佑介	(呼吸器センター)		2019年4月1日付
・小川 正隆	(消化器センター)		2019年4月1日付
・中原 健太	(消化器センター)		2019年4月1日付
・小川 悠史	(消化器センター)		2019年4月1日付
・片岡 伸一	(消化器センター)		2019年4月1日付
・齋藤 秀嘉	(こどもセンター)		2019年4月1日付
・小宅 千聖	(こどもセンター)		2019年4月1日付
・瀧島 和美	(消化器センター)		2019年4月1日付
・小倉 庸平	(消化器センター)		2019年4月1日付

異動・退職医師

【附属施設へ】

・七条 武志	(泌尿器科)	昭和大学病院	泌尿器科へ	2019年4月1日付
・西木戸 修	(緩和医療科)	昭和大学病院	緩和医療科へ	2019年4月1日付
・薄井 隆宏	(眼科)	江東豊洲病院	眼科へ	2019年4月1日付
・白旗 敏之	(整形外科)	昭和大学病院	整形外科へ	2019年4月1日付
・佐藤 英章	(こどもセンター)	江東豊洲病院	小児外科へ	2019年4月1日付
・植松 秀護	(呼吸器センター)	昭和大学病院	呼吸器外科へ	2019年4月1日付
・葭葉 清香	(歯科)	歯科病院	顎顔面口腔外科へ	2019年4月1日付
・小林 香映	(皮膚科)	昭和大学病院	皮膚科へ	2019年4月1日付
・山本 明和	(循環器内科)	昭和大学病院	循環器内科へ	2019年4月1日付
・外山 大輔	(こどもセンター)	江東豊洲病院	小児科へ	2019年4月1日付
・山家 弘雄	(脳神経外科)	藤が丘病院	脳神経外科へ	2019年4月1日付
・水越 曜子	(こどもセンター)	昭和大学病院	小児科へ	2019年4月1日付
・大塚 康平	(こどもセンター)	江東豊洲病院	小児科へ	2019年4月1日付
・豊田 純也	(こどもセンター)	江東豊洲病院	小児科へ	2019年4月1日付
・高木 俊敬	(こどもセンター)	藤が丘病院	小児科へ	2019年4月1日付
・三木 綾子	(内科)	東病院	脳神経内科へ	2019年4月1日付
・小泉 真太郎	(泌尿器科)	藤が丘病院	泌尿器科へ	2019年4月1日付
・岡本 怜士	(整形外科)	昭和大学病院	整形外科へ	2019年4月1日付
・山口 巖史	(脳神経外科)	江東豊洲病院	脳神経外科へ	2019年4月1日付

異動・退職医師

【学外研修へ】

・黒田 拓馬	(整形外科)	2019年4月1日付
・奥村 大志	(消化器センター)	2019年4月1日付
・高瀬 真理子	(こどもセンター)	2019年4月1日付
・田山 愛	(こどもセンター)	2019年4月1日付
・北野 学	(耳鼻咽喉科)	2019年4月1日付
・飯田 和章	(整形外科)	2019年4月1日付
・石山 美咲	(消化器センター)	2019年4月1日付
・関 純一	(消化器センター)	2019年4月1日付
・峯岸 洋介	(消化器センター)	2019年4月1日付
・高階 祐輝	(消化器センター)	2019年4月1日付
・垣迫 健介	(消化器センター)	2019年4月1日付
・栗原 亜梨沙	(消化器センター)	2019年4月1日付
・瀧島 弘康	(呼吸器センター)	2019年4月1日付
・下里 誠司	(内科)	2019年4月1日付
・飛鳥井 邑	(循環器内科)	2019年4月1日付
・江畑 晶夫	(こどもセンター)	2019年4月1日付

【定年退職】

・岡本 健一郎	(緩和医療科)	2019年3月31日付
・梅田 陽	(こどもセンター)	2019年3月31日付
・小坂 誠	(麻酔科)	2019年3月31日付
・馳澤 憲二	(放射線治療科)	2019年3月31日付
・井上 克己	(泌尿器科)	2019年3月31日付

【退職】

・鈴木 孝明	(こどもセンター)	2019年3月31日付
・石垣 征一郎	(内科)	2019年3月31日付
・尾又 弘晃	(整形外科)	2019年3月31日付
・藤井 智子	(麻酔科)	2019年3月31日付
・鈴木 謙一	(消化器センター)	2019年3月31日付
・趙 智成	(消化器センター)	2019年3月31日付
・五十嵐 健太	(消化器センター)	2019年3月31日付
・山内 章裕	(消化器センター)	2019年3月31日付
・石山 泰寛	(消化器センター)	2019年3月31日付
・前田 智子	(泌尿器科)	2019年3月31日付
・花岡 健太郎	(こどもセンター)	2019年3月31日付
・越智 英行	(麻酔科)	2019年3月31日付
・佐野 文俊	(呼吸器センター)	2019年3月31日付
・志村 裕子	(麻酔科)	2019年3月31日付
・中村 優太	(放射線科)	2019年3月31日付
・伊賀 美季子	(麻酔科)	2019年3月31日付

患者さんからのご意見・ご要望

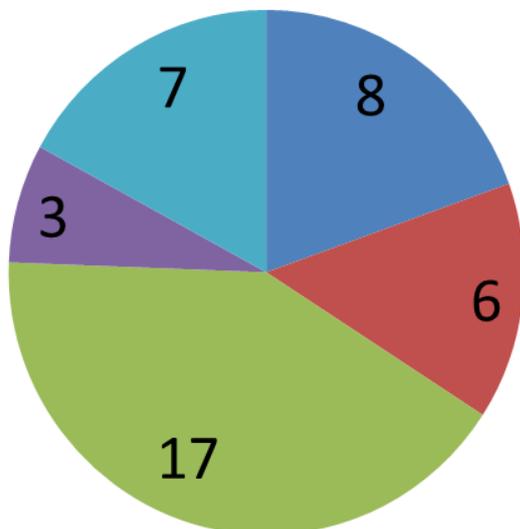
日々患者さんよりいただきましたご意見・ご要望に関しましては、病院長及び関連する部署の責任者に報告し、改善に努めております。

今までのご意見の中で多くいただいたものや最近のご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきました。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせくださいますようお願い申し上げます。

ご意見・ご要望	回答・改善等
<p><環境について> 病棟のシャワー室の椅子が低すぎて大変です。 他 16 件</p>	<p>シャワー室の椅子に関して、背もたれ付きや椅子の高さが高いものなどご用意しています。シャワー浴をされる前に、シャワー椅子の説明を行い、患者さんの身長に合わせたもの、要望に沿った椅子を提供していきたいと思えます。 今後は背もたれの無い椅子に関し、安全性を優先したものにへ変更する方向で検討致します。</p>
<p><運用・サービスについて> 1階にある自動精算機の待機列の入口が分かりづらいです。 他 5 件</p>	<p>現場確認しご指摘いただいた通り案内が不足しておりましたので、現時点で出来る表示をさせていただきました。また今後表示だけでなく並び方についても検討してまいります。</p>

平成31年2月 ご意見・ご要望の総計 41件



- 接遇・マナー
- 運用・サービス
- 環境
- 感謝
- その他

診療統計

前年同月比 ()内は1日平均

診療実日数 2018年2月(入院:28日・外来:23日)、2019年2月(入院:28日・外来:23日)

	入院患者数	外来患者数	救急搬送数	手術件数
2018年2月	17,459人(623.5人)	25,253人(1,098.0人)	461件(15.4件)	661件(34.8件)
2019年2月	17,144人(612.3人)	25,194人(1,095.4人)	466件(15.5件)	727件(38.3件)

TOPICS がん相談支援センターについて

相談員(看護師や医療ソーシャルワーカー等)が、患者さんやご家族から質問や相談をお受けし、情報提供や問題の解決に向けて、一緒に考えていきます。

※個人の秘密は守り、相談されたことにより不利益が生じないように配慮します。

※相談は無料です。

受付時間

月～土曜日(祝日除く)

8:30～17:00

対応時間

月～金曜日(祝日除く)

8:30～17:00

場所

中央棟1階総合相談センター(総合案内隣)



編集後記

冬は足早に立ち去り、春爛漫となりました。桜も咲く頃となり、北部病院では、学生や新人が目立つようになります。教育病院である当院にとっては、医療の未来を担う人物を育成することは大きな役割です。良き医療人の育成には、専門家だけでなく患者さんの方々のご協力も重要です。暫くの間は、慣れない新人に戸惑う場面やご面倒をお掛けすることもあると思いますが、温かい目で見守って頂ければ幸いです。

来月には元号の変更があり、書類書式の変更等が行われます。戸惑われることがあると思いますが、ご理解の程、お願い申し上げます。また、今年のゴールデンウィークが非常に長く、当院の診療体制も通常と異なっております。掲示物やホームページでご確認下さい。不明な点は、職員に何なりとお尋ね下さい。最後に、一日も早く、花粉のシーズンが終わると良いですね。

〈内科 准教授 緒方 浩顕〉



北部病院だより 第130号

平成31年4月1日発行

発行責任者 門倉 光隆(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 緒方 浩顕(広報委員会委員長)

発行 地域中核病院 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www.showa-u.ac.jp/SUHY/index.html>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がご覧いただけます。